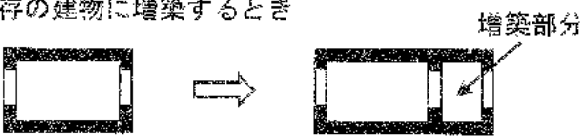



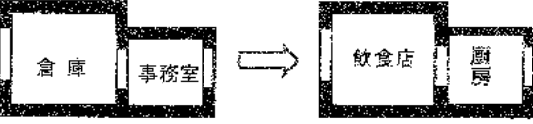



建築基準法、消防法等の遵守について

既存の建物を利用して次の行為を行う場合は、建築基準法、消防法等を遵守する必要があります。

詳しくは、建築士等に相談してください。

例	法令適合の確認	
	消防法等	建築基準法
<p>◆既存の建物に増築するとき</p> 	必要	必要 <small>※原則、確認申請の手続きが必要となります。</small>
<p>◆既存の建物をリフォームするとき</p> <p>例1 内装工事等で、既存の窓を塞ぐ</p>  <p>例2 間仕切り壁を設けて、部屋を細かく仕切る</p> 	必要	必要
<p>◆既存の建物の用途を変えるとき</p> <p>例1 事務所として使用していた建物で飲食店をはじめる</p>  <p>例2 倉庫として使用していた建物で飲食店をはじめる</p> 	必要	必要 <small>※用途を変更する部分の床面積の合計が100㎡を超える場合は、建築確認申請の手続きが必要となります。 ※例1、2以外で、既存の用途を変更する場合であっても、申請手続きが必要となる場合があります。</small>
<p>◆消防用設備等を設置するとき・改修するとき</p>  <p style="text-align: right; margin-right: 50px;">凡例 △▲消防用設備等</p>	必要	

※ 区分欄に掲載した事項は、一例を示したものです。

※ 相談を円滑に進めるため、建築士による法令適合の事前確認をお願いします。

※ 厨房設備や火気使用設備を設けるときは、建築基準法、消防法及び火災予防条例への適合性の確認をお願いします。